

## 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下に伴い、体内に潜伏するウイルスが再び活性化することにより発症するものです。日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症すると言われています。治療が長引くケースがあるほか、带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残るケースもあります。

この带状疱疹の発症予防に带状疱疹ワクチンの接種が有効とされていますが、その費用が高額になることから、接種を諦める高齢者なども少なくありません。

よって、国においては、一定の年齢以上の国民に対する带状疱疹ワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンへの助成制度の創設や、予防接種法に基づく定期接種化を実現することを強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和5年3月27日

盛岡市議会